

探訪 チャレンジ企業 74

不利な立地を「こだわり」で克服する 宝達山本舗 松月堂：宝達志水町

一 宝達の奇跡？

「みんなから、『こんな立地で商売が成り立つなんて奇跡や』とよく言われるんです」と笑って話してくれるのは、J R宝達駅すぐそばの宝達山本舗 松月堂三代目の松田健太さんです。

確かにお店の前を通る自動車はまばらで、駅前とはいえず、乗降客数も一日平均四四六六人（平成二十一年度調査）の立地にもかかわらず、お客様から支持されるにはそれ相応の理由があります。

約十年前、松月堂の店先は、



シャッターが半分下りた状態でした。

当時は、地域の冠婚葬祭需要が中心で、店売りは重視されていなかったからです。

その頃、家業に従事するため県外から帰ってきた三代目は、このままではいずれ立ちいかなくなるかと独自のこだわりで商売に取り組み始めました。

二 手作りこだわる

こだわりの一つ目は、徹底した手作りを行うことです。大量生産に必要な機械は工場一つもありません。多く作ることもよきも美味しく作ることも。手間暇をかけることを惜しみません。

三 素材にこだわる

こだわりの二つ目は、素材をとことん追求することです。

こだわりクッキーのバターは、国産の四倍の価格のフランス産発酵バターを使っています。美味しいと思えば何でも試してみます。

四 レシピにはこだわらない

手作りにこだわり、素材にこだわる三代目ですが、レシピにはこだわられません。一度作ったレシピも、少しでも美味しくなると思えばこだわりなく変えてしまいます。

松月堂の全ての行いは、お客さまに美味しいものを提供することに繋がっているのです。

五 宝達高生とコラボ

お客さまに美味しいお菓子を提供するとともに三代目は、地元感謝し、地元を巻き込んだ商売を目指しています。

その活動の一つとして、今年の五月三～五日には、宝達駅前特設会場において、宝達高生とのコラボ商品「ジュエルスイーツ」（末森の風、ロール慶次、永福大福）を販売し、用意した八百セットを完売しました。これは、宝達高生が地元の歴史を題材に企画・構成を担当し、松月堂が商品化したものです。

参加した宝達高生は、自分たちが考えた商品が、お客様

の支持を得られたことに感動していました。

この事業は、マスコミにも大々的に取り上げられました。マスコミを上手に活用するきっかけを三代目に伺ったところ、自身も所属した県商工会青年部連合会調査研究委員会が企画した「集中力アップのマスコミ&口コミ対策セミナー」との答えが返ってきました。



六 青年部事業からヒント

自店の取り組みを上手くマスコミを使ってPRする「プレスリリース」以外にも、青年部事業で大いに商売に役立ったと教えてくれたのが、全国商工会青年部連合会が運用するホームページ「クラブインパルス」で、これに掲載することで自社のホームページの評価も上がりSEO対策にもなったとのこと。

最後に三代目は、青年部活

動について、「求めればいろんな勉強ができるし、仲間から刺激も受ける。また、エンドユーザーでもあり、商売上の貴重な気づきも得られる」と語ってくれました。



（お問い合わせ）

宝達山本舗 松月堂

〒九二九-1134

羽咋郡宝達志水町小川二二七

TEL 〇七六七-二八-三七八

<http://syogetsudo.com>

（取材・執筆：県商工会連合会

澤井 健一）

「クラブ・インパルス」は、全国の商工会青年部員による各地域の自慢の逸品(名産品・特産品)や、オリジナリティ溢れるグルメ情報、特色あるサービスなどを、幅広く紹介する総合ポータル・サイトです。

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。